



2004年12月12日(日)「弘法山ハイキング」に出かけました。場所は、小田急線秦野駅から鶴巻温泉駅へ至るコースです。弘法山は標高237メートル、標高差は175メートル、歩行距離約7.5キロ、歩行時間約3時間、そして、鶴巻温泉で入浴という慌ただしい雰囲気のある年末をのんびり歩こうというプランです。

この日の天候は、やや怪しく、小雨がぱらつくかもしれないということでした。秦野駅を降りて歩き出すと確かに小雨が…。でも、それもほんの10分程度で、その後、雨が降ることはありませんでした。“弘法の清水”“浅間山”“権現山”“めんようの里”と歩き、“弘法山”で昼食。そして、クライマックスは“みかん狩り”。コース上にあったみかん畑は、“どうぞお立ち寄り下さい”といわんばかりに開放されていて、ちょっとのぞくつもりで中に入ったのです。落ちているみかんで食べられそうなヤツを拾い、食べてみて、そのうち、木を揺すってみかんを落としてそれを拾い、ついには、手の届くみかんをもぎ取っていたのです。これぞ“みかん狩り”！そして、鶴巻温泉の“ゆたか”という日帰り温泉で入浴、町田の“王将”で忘年会となりました。



揖斐さん、お久しぶり

12月12日(日) 集合場所は、久しぶりに小田急線町田駅改札付近です。集合時間は、のんびり9時。待っていたのは、板垣さんだけでした。“おかしいなあ？小野さんは？”と思っていると、改札の中から、宮部さんが「中にいますから」なるほど、宮部さんは、多摩センターから小田急線で新百合ヶ丘経由で来たのでした。というわけで、改札の外からそして中から集まったのは、小野勝彦さん、桜井利子さん、揖斐京子さん、宮部忠和さん、宮部香与子さん、横山和明さん、板垣実さん、大貫洋さん、町田行弘の9名となりました。

9時7分の急行に乗り、9時43分秦野駅に着きました。改札を出て、北口へ降ります。水無川に沿って右方向に歩き始めます。まず向かったのは、“弘法の清水”。ガイドブックによれば“名水百選にも選ばれた秦野湧水群のひとつで、清冽な水が湧き出している。わかりにくい場所にあるが、地元のひとに聞けばわかるはず”さっそく、犬の散歩中のおばさんに聞くと、親切に教えてくれました。

いたずらのような雨

“弘法の清水”は、水の湧き出している部分が汚されないように、しっかりと屋根で覆われていていました。もちろん、湧き水は飲むことができ、柄杓ですくって味見をします。と、ここで雨が降り始めました。たいした雨では、ないのですが、気温の低い冬の雨ですから、ちょっと気になります。傘をさし、カッパを用意してきた人は羽織ります。カッパを忘れた桜井さ



んは、近くのイトーヨーカ堂で調達することにしました。ところが、桜井さんがカッパを購入して出てくると雨はほぼあがっていました。

気分は秦野城主

10時30分、“弘法山公園入口”の看板に到着。ここから山道が始まります。整備されているとはいえ、ちょっと急なジグザグの上りが続きます。下を見下ろす度に、地上はどんどん遠ざかり、前方には、暖冬で遅い紅葉がきれいです。冬の山というよりは秋山の景色です。15分ほどで、“浅間山”に到着します。広い山頂には、ベンチとテーブルがいくつかあり、ここで上着を脱ぎ、不要となった雨具などをしまいました。再び歩き出すとすぐに、“めんようの里”へ向かう車道をまたぎ、急な階段をゆっくり登って行きます。しばらくすると、目の前に六角形の屋根の2階建ての建物が現れました。これが“権現山”山頂の展望台です。あまりにもりっぱな建物なので、食事処でもあるのかと期待したら何もなく、単なる展望台でした。2階部分の展望台からは、富士山や、丹沢の山々、相模湾が見えるようですが、この日の天候では、確認できるのは、下界の、小田急線、東名高速くらいなものですが、なんだか秦野の街を制覇した城主のような気分の眺めです。



美しい放牧場

権現山から、桜並木の緩やかな階段を下ると、“馬場道”と呼ばれる尾根道に出ました。この尾根道も両側に桜が植えられていて、桜の季節はかなり期待できそうですが、人出もすごそうです。平らな尾根道が終わると、右手に“弘法山”、左手に“めんようの里”と道が分かれます。左下へ向かう道で“めんようの里”へ寄り道することになります。道を下ると目の前に羊の放



牧場が見えてきました。人なつこい羊が柵に近づいて来ます。近くの草をむしってあげると美味しそうに食べてくれます。この羊は、顔だけが黒く、身体が薄茶色のサフォーク種で、“めんよう”とは“綿羊”のことで、毛糸を作るための羊のようです。私たちも立ち寄った“木里館”では、“工房ウールワーク”

という羊の毛から毛糸を紡ぐ体験教室もあるとのことでした。



食後の遊びは“みかん狩り”

寄り道を終えて本来のコースに戻り、弘法山を目指すことにしましょう。平らな尾根から続く道は、整備されたスロープが両側にあるかなり緩やかな階段に変わりました。この階段の終点が“弘法山”山頂です。鐘楼、弘法大師の木像が納められた大師堂、弘法の乳の水と呼ばれる井戸があり、まさにお寺の境内です。時刻はちょうど12時、ここで、昼食にします。



12時30分、記念撮影をして、下山開始です。枯れ葉の敷きつめられた緩やかな山道をのんびり下ります。15分ほどで下りきり、軽トラックが1台走れそうな舗装路の緩やかな上りになりました。そして、右側にみかん畑が現れたのです。門らしきものが一応あるのですが、開放されていて、誰でも侵入できる状態です。覗くと木から落ちたみかんが散乱しています。



落ちているみかんを拾うの

なら、“この畑の持ち主に迷惑ではないはず”とちょっと足を踏み入れてしまいました。そして、落ちていたみかんを品定めして、食べられそうなものを拾い、食べます。「大丈夫、おいしい！」“もっとうまいようなみかんは落ちていないかな？”と行動範囲が広がっていきます。拾い食いの結果、入り口付近のなかば枯れた木になる小さなみかんが甘いということになり、宮部さんの奥さんが「あそこのかたまりが欲しいわ」と言われても手が届きません。ステッキでも無理。こうなれば揺すり落とすしかない、町田が木の幹を持って揺らします。ポトポト。そして、落ちたみかんを拾います。そのうち、誰かが木からもぎとったみかんを差し出します。食べてみるとみずみずしい！さすがに今まで木とつながって生きていたという感じがします。死んだ魚の刺身と活きた魚の刺身の違いがみかんにもあるのかも。こうして、ほどよくみかん畑を荒らしていると、ハイカーが近づいて来たので引き揚げることにしました。戦利品は、バッグの中や上着のポケットや上着の中(?)へ。後ろから来たハイカーもつられてみかん畑の中へ入ってしまいました。が、畑荒らしを真似することなくコースへ戻りました。



小野さん曰く「小野さん、みかん拾って」が自分で拾い出し、「小野さん、あのみかん取って」が自分で取り出し、夢中で取っている桜井さん。

この10分ちょっとの“みかん狩り”でしたが、今回のハイキングの半分ぐらいの時間を過ごしたような強烈な印象を残しました。



頭の中にはみかんがごろごろ

後ろから来たハイカーに抜かれる時も、「落ちていたのを拾っただけよねえ」などと言い訳したりして…。遅い紅葉の中、枯れ葉の敷き詰められたコースを、緩やかにアップダウンを繰り返しながら歩きます。

途中、左側に再びみかん畑が、ありましたが、入りたい気持ちをおさえて見送ります。先ほどの場所と違って、入るとなるといかにも侵入したといった感じです。手入れも行き届いていました。入ってみついたら“落ちているみかんを拾っているだけです”という言い訳は通用しそうもありません。



“みかん狩り”というよりは“みかん泥棒”になるかな？ところが、少し歩くとなんとみかんの皮が落ちていてビックリ！取って食べた勇氣ある（？）ハイカーがいたんだ。頭の中がみかんで一杯のまま、吾妻山に到着しました。山というよりは、休憩広場という感じです。一休みして、鶴巻温泉を目指します。ここから、鶴巻温泉は約25分。街並みも見えてきて、さらなるみかん狩りの期待はなくなり、頭の中を温泉に切り替えます。吾妻山から10分ほどで、山道が終了し、舗装



路に放り出されました。東名高速をくぐると、鶴巻温泉にある入浴施設の案内板がありました。

加藤さんはすでに…

現在鶴巻温泉には、旅館が5軒（陣屋・大和・美ゆき・梵天荘・鶴よし）日帰り温泉が2軒（ゆたか・弘法の里湯）あります。インターネットでの事前調査で、今回のハイキングの案内にも載せたように“ゆたか”と決めていました。桜井さんは、以前訪れた“弘法の里湯”にこだわっていましたが…。

鶴巻温泉は、カルシウムの含有量がとても多く、“肌を若々しく保つほか、疲労を取り除き、不眠症やストレスを解消します。またホルモンの分泌を促し、特に女性特有の諸症状に効果を発揮します。また神経痛、リウマチ、胃腸病、うちみ、捻挫などにも効果があるといわれています”といった効能があるそうです。

入浴を終え、町田に移動して打ち上げ（忘年会）をやるのと、団地の大掃除のため参加できなかった加藤さんに連絡を入れたところ、すでに出来上がっていました。“残念！”

町田の“王将”にて、お酒を飲まない桜井さんを除く8名で盛り上がったのでした。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
桜井利子	194-0001	東京都町田市つくし野 1-32-17 042-796-9591
揖斐京子	192-0372	東京都八王子市下柚木 3-3-5-704 0426-79-3894
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577- ホ -22-101 042-793-1271
大貫洋	194-0032	東京都町田市本町田 2533- 八 -1-307 042-792-1564

